

調査・研修等計画届出書

令和元年9月25日

瀬戸市議会議長 長江秀幸様

議員名伊藤 賢二 

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記


期 日	令和元年10月10日(月) 泊 日)	
調査先・研修名	地方自治情報化推進フェア	
会場名(会場所在地)	東京ビックサイト青海展示場Bホール	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	人口減少、高齢化の中、住民サービスに不可欠な行政サービスを提供し続けるためには、ICTの活用と職員でなければできない業務に注力できるような環境を作る必要がある。今後の地方自治体の在り方や将来展望等について調査を行う	
議長名の依頼	不要	依頼先(名称)
同行者名	無し	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 元年10月 15日

瀬戸市議会議長長江 秀幸 様

議員名伊藤 賢二 

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和元年10月10日から10月10日まで(泊日)
調査先・研修名	地方自治情報化推進フェア
会場名(会場所在地)	東京ビックサイト青海展示場
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	人口減少・高齢化で労働力が減少していく中で、地方自治体が住民サービスに不可欠な行政サービスを提供し続けるためには、ICTの活用が重要であり今後の自治体の在り方や将来展望について調査をするため
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
A Iスピーカースキル 「地方自治体向けA Iスピーカースキル」 音による簡単操作の為高齢者や目の不自由な方でも使用可能 ①防災無線読み上げ機能 ②自治体からのお知らせ ③ゴミ捨て関連情報 ④問い合わせ自動対応(24時間365日対応) ⑤病院および休日当番検索 バーチャル行政窓口 支所と本庁でのやり取り駅でも設置可能 ①各種証明書の発行②各種手当ての申請③各種手数料スマホ決済 ④簡単な質問は人口頭脳が自動回答⑤基幹系システムとの連携処理 等々上記事項が可能となる	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

行政サービスの高度化、課題解決に対し、今後とも積極的にICT活用の方法などデジタル・ガバメント推進の為の情報収集をしていく必要を強く感じました。今年5月にはデジタル手続法が成立しました。行政のデジタル化は喫緊の課題になった。本市としても今以上に取り組んでいくべきと感じました。

調査・研修の成果・考察
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

AIスピーカースキルで住民との新しいコミュニケーションが創造できるバーチャル行政窓口で人件費や人手不足解決できるのではないかと考える